

2024年度「SDGsに係る取り組みテーマ・具体的な施策」の実績

○…目標達成、△…進行中または一部目標達成、×…目標未達

当社グループが取り組む重点課題	関連するSDGs 目標	取り組みテーマ	具体的な施策	実績評価		ISO26000中核主題（参考）						
						組織 統治	人権	労働 慣行	環境	公正な 事業 慣行	消費者 課題	コミュニティへの 参画及び 発展
【Planet 地球】 地球環境の保全・資源の保護による 脱炭素社会の実現	 	環境マネジメントシステムによる環境負荷の低減	事業所におけるエネルギー使用量の低減	○	各事業所ごとの基準年度から2%以上の削減を達成した。	●			●	●		
			回収フロン類のリサイクル化	○	100%リサイクル化を目指し、全店で推進している。				●	●		
			産業廃棄物の適正処理	○	電子マニフェストシステムを利用して最終処分までの適正処理を確認した。				●	●		
		脱炭素社会の実現に向けたマネジメント強化	情報開示の拡充	○	TCFD提言に沿って開示する気候変動に関するリスクについて、分析に用いるシナリオを2℃から1.5℃に見直し、それに伴う影響の再評価を行った。	●			●	●		●
			温室効果ガス排出量の把握の精度向上と削減	○	Scope1,2,3の算定対象範囲を親会社単体から国内子会社を含めた国内事業全体に拡大、また、Scope2の算定方法をロケーション基準からマーケット基準に変更し、排出量算定精度向上を図った。2023年度のScope1,2,3における第三者保証を取得した。温室効果ガス排出量の削減に向け、機器事業部豊富工場への太陽光発電設備を導入し、本社本店ビルにおいては実質再生エネ由来の電力の導入計画を進めた。	●			●	●		
【Prosperity 豊かさ】 持続可能な社会の実現につながる ソリューションの提供と品質・安全衛生の確保	  	持続可能な社会の実現につながるソリューションの提供	客先に対するファシリティマネジメント提案の推進	△	提案実績数としては前年度を下回ったが、前年度より実施している提案内容の蓄積と情報共有をさらに推進し、これに注力して取り組んだ。						●	
			省エネ提案におけるCO2排出削減量の見える化の運用	○	実績値は前年度比若干減となったが、目標値は達成となった。				●		●	
			事業活動におけるCO2排出量の削減	○	事業活動におけるCO2排出量を把握し、削減目標を設定した。今後はカテゴリ毎の削減方法を検討していく。				●		●	
		研究開発の強化	コメ型ワクチンMucoRice 栽培環境に関する研究	○	AMED（日本医療研究開発機構）の支援を受け、GLP試験用原薬を必要取量確保し、研究を前進させた。						●	●
			液冷空調システム、潜熱・顕熱分離空調を中心とした独自ZEB空調システムの改善	△	各システムを新技術研究所へ実装し、現在建設中。ZEB認証取得を目指す。				●			●
			研究開発基盤の整備	△	当社独自の技術を取り入れた新技術研究所を現在建設中。ZEBの達成、LEEDやCASBEEなどの第三者機関による高ランクの認証の獲得を目指す。				●		●	●
		品質・安全衛生の確保	トラブル・クレームの未然防止と情報共有	○	トラブルは前年度と比較し削減され、引き続きトラブル件数ゼロを推進する。トラブル情報のワンペーパー化により情報共有を促進した。	●					●	
【People 人間】 ワークライフバランスとダイバーシティの推進 働き方改革の推進とデジタル技術の活用による 生産性の向上	   	ワークライフバランスの推進	法定時間外労働時間の削減	△	技術職平均時間は前年度減を達成したが、事務職の平均時間が前年度比増となった。		●	●				
			有給休暇取得の奨励	△	公暇付与制度の導入が影響し、有給休暇取得率は前年度比若干減となったが、継続して奨励を実施した。		●	●				
			育児休業取得の促進	○	男性、女性ともに育児取得率の目標値を達成した。		●	●				
		ダイバーシティの推進	女性総合職の採用	△	2024年度の目標比率は未達となったものの、実数(人数)値は前年度比増となった。		●	●				●
			女性管理職の登用	△	女性管理職の人数は前年度数値を維持した。		●	●				●
			障がい者の雇用確保	○	障がい者法定雇用率2.5%を上回った。		●	●				
			定年再雇用者の活躍推進	○	再雇用希望者再雇用率100%を継続して達成した。		●	●				
		働き方改革「Asahi Sun社員プロジェクト」の更なる推進	法定時間外労働の上限規制への対応 ・業務の効率化、平準化の推進 ・労働時間に関するマネジメント強化 健康的で働きがいのある職場環境づくり	○	上限規制を遵守し、全部門で時間外労働時間を削減した。		●	●				
				○	働き方改革委員会においてテレワークや時差出勤を制度化し、職場環境の向上を図った。		●	●				
		デジタル技術の活用による生産性の向上	施工業務におけるデジタルツールの導入	○	BIMを活用した出来高管理システムの活用により業務削減を行った。			●				
【Partnership パートナーシップ】 ビジネスパートナー等との共存共栄と パートナーシップの強化		サプライヤーとの連携強化/ 労働災害の根絶と安全衛生活動の強化	適切な関係維持と品質、安全確保に向けた協力会社との関係強化の推進	○	本社安全衛生パトロールに他店社員の参画を実施し情報共有の促進を図った。協力会社事業主研修会、安全衛生協力を会を通じた安全教育や安全大会、現場パトロールを例年に引き続き確実に実施した。			●		●		
			協力会社との公正な取引とインセンティブ強化	△	協力会社・個人表彰者数拡大を検討し安全衛生協力会規定の見直しを協議中。			●		●		
		外部組織とのパートナーシップの強化	SDGsに関係する国内外のイニシアチブ・コンソーシアムへの参画	○	国連グローバルコンパクト4分野・10原則（人権・労働・環境・腐敗防止）の実践とその成果に関する報告書を提出した。		●	●	●	●		●
		全社的な社会貢献の継続実施	全社的な社会貢献の継続実施	○	前年度と同程度に継続実施した。				●			●
			その他、各事業店による地域社会貢献の継続実施	○	例年並みの社会貢献活動を継続実施した。				●			●
【Peace 平和】 コーポレートガバナンスの拡充と コンプライアンスの強化		コーポレートガバナンスの拡充	コーポレートガバナンス体制の継続的強化	○	コーポレートガバナンスコードへの適切な対応を行うとともに、取締役会実効性評価で抽出された課題に対して、適宜対応した。	●				●		
			内部統制システムの確実な運用と簡素化に向けた検討	○	内部統制の不備はなかった。	●				●		
			広報・IRの推進	○	発信情報の掘り起こし、ブラッシュアップを行い、HPのリリース発信・メディア発信の情報(量)を充実化した。また、個人投資家向け会社説明会を実施し認知度向上を図った。（参加・視聴者数 前年度比約3割増）	●				●		
			投資家との面談の充実	○	中長期的な企業価値向上に向けて投資家との面談を積極的に行い、売買代金及び株価向上につなげた。（面談実施回数 前年度比約4倍）	●	●			●		
			BCPのさらなる浸透	○	BCP理解度向上に向けて全役職員対象にe-ラーニングによる教育を実施した。	●				●		
		実効的なコンプライアンスの浸透	コンプライアンスの徹底・強化	○	コンプライアンス教育を継続実施した。	●	●			●		
			内部通報制度の有効性確保	○	社外から寄せられた通報や相談事項を弁護士事務所と連携し、適切に対応した。	●	●	●		●		

2025年度「SDGsに係る取り組みテーマ・具体的な施策」

当社グループが取り組む重点課題	関連するSDGs 目標	取り組みテーマ	具体的な施策	ISO26000中核主題（参考）							
				組織 統治	人権	労働 慣行	環境	公正な 事業 慣行	消費者 課題	コミュニティへの 参画及び 発展	
【Planet 地球】 地球環境の保全・資源の保護による 脱炭素社会の実現	 	環境マネジメントシステムによる環境負荷の低減	事業所におけるエネルギー使用量の低減	●			●	●			
			回収フロン類のリサイクル化				●	●			
			産業廃棄物の適正処理				●	●			
		2050年度温室効果ガス排出量ネットゼロに向けた取り組み促進	2025年度のScope1,2削減目標（2019年度比▲36.5%）の確実な達成	●			●	●			●
			温室効果ガス排出量の算定精度向上と削減	●			●	●			
			全社的な再生可能エネルギーの使用拡大	●			●	●			
			国際的なイニシアチブへの参画と体制の強化	●			●	●			●
【Prosperity 豊かさ】 持続可能な社会の実現につながる ソリューションの提供と品質・安全衛生の確保	  	持続可能な社会の実現につながるソリューションの提供	客先に対するファシリティマネジメント提案の推進						●		
			省エネ提案におけるCO2排出削減量の見える化の運用				●			●	
			事業活動におけるCO2排出量の削減				●			●	
		研究開発の強化	コメ型ワクチンMucoRice 栽培環境に関する研究							●	●
			液冷空調システム、潜熱・顕熱分離空調を中心とした独自ZEB空調システムの改善				●				●
			研究開発基盤の整備				●			●	●
		品質・安全衛生の確保	トラブル・クレームの未然防止と情報共有	●						●	
品質・安全衛生管理の推進				●							
【People 人間】 ワークライフバランスとダイバーシティの推進 働き方改革の推進とデジタル技術の活用による 生産性の向上	   	ワークライフバランスの推進	法定時間外労働時間の削減		●	●					
			有給休暇取得の奨励		●	●					
			育児休業取得の促進		●	●					
		ダイバーシティの推進	女性総合職の採用		●	●					●
			女性管理職の登用		●	●					●
			障がい者の雇用確保		●	●					
		デジタル技術の活用による生産性の向上	定年再雇用者の活躍推進		●	●					
			施工業務におけるデジタルツールの活用			●					
			DX推進による業務改善（合理化・効率化）			●					
【Partnership パートナーシップ】 ビジネスパートナー等との共存共栄と パートナーシップの強化		労働災害防止・生産性向上を両輪にして効果的な活動の推進	適切な関係維持と品質、安全確保に向けた協力会社との関係強化の推進			●					
			協力会社との公正な取引とインセンティブ強化			●					
		サプライヤーとの連携強化	サプライヤーの持続可能性評価と教育支援		●	●	●	●			●
		外部組織とのパートナーシップの強化	持続可能なビジネスモデルの構築と新たな機会の創出				●			●	
		地域社会の健全な発展への貢献	全社的な社会貢献活動の継続実施（献血活動、エコキャップ活動、古本募金、カレンダー寄付）				●			●	
【Peace 平和】 コーポレートガバナンスの拡充と コンプライアンスの強化		ステークホルダーエンゲージメントの向上	協力会社の人権尊重における体制整備	●	●			●			
		コーポレートガバナンスの拡充	コーポレートガバナンス体制の継続的強化	●			●				
			広報・IRの推進	●			●				
			投資家との面談の充実	●	●		●				
			BCPの理解度の浸透、継続	●			●				
			実効的なコンプライアンスの浸透	●	●		●				